

みかんの味が消えるとき

朝の風景

パンをかじり、妻がむいぐれたみかんを

ほお張りながら新聞に目をつける 

妻が「今日のみかんのお味はどう?」と

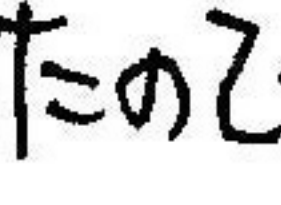
私は目が点々になった。

意識は新聞記事に向いていて、全くみかんの味は分かっていなかったのです。

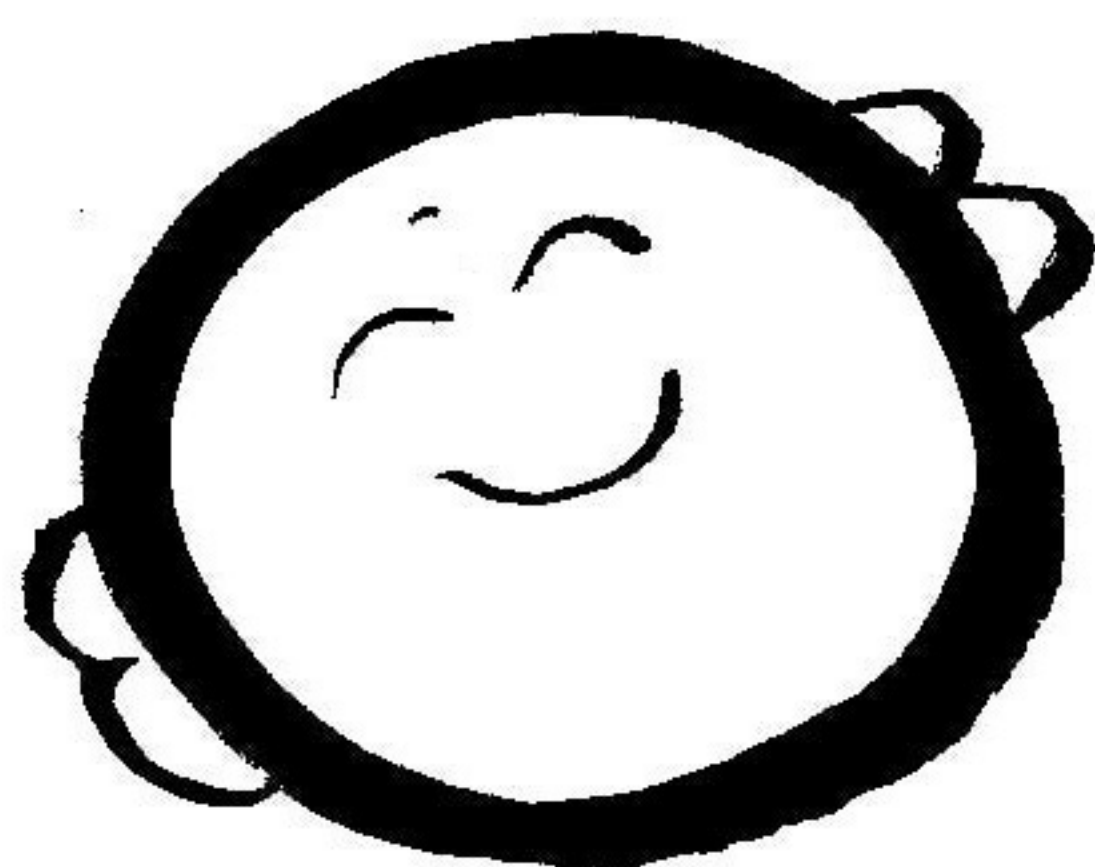
時間がないから新聞を読んでいたということもなく、ただ何となく手持ち無沙汰で……

そんなこと、今目の前にある楽しいお食事の味が消えるとは… なんと怖いことだろう。

このようなことは日々の生活の中にいっぱいあることだろう。

目の前のものがみかん  だったのび許してくれたかもしれないが、

人だとしたら… 怖いことであらね。



おじいさんだよ

いつもありがとう 

2015年5月

ソニックジャパン
金沢支店 支店長
(社)生命保険
ファイナンシャルアドバイザー協会 (JAIFA)
本部副会長 石川県協会会長

鳥越介順 (とりごえ かいじゅん)

ながらは流れるとき

人生は濃い濃い時間ばかりでは無さそうです。

ゆえに流されていくように過ぎる時間も当然にあるでしょう。

その代表的ものが ~ながら時間 でしょう。

一見、2つのことを同時に行くと充実しているかのように感じるが

実は人生として、魂と見ると流れていくひとときでしょう。

ついつい出来てしまう
簡単に出来てしまうところに
落穴があるようであらね

お笑い話の連続!! ^{笑って元気に!!}

弟の夏休みの宿題。

「20世紀梨の産地をお店のダンボールで調べてきなさい。」

弟が書いた答えは・・・ 「直送」

どうやら「産地直送」と書いてあったのを見たらしい。

阪急電車の中、3歳位の男の子がおしっこをしたがっている様子。

子供「ママおしっこ」

ママ「どうしてももっと早く言わへんのっ!」

すると子供は何を考えたのか・・・

早口で「ママッおしっこ」。

昔、母を駅まで送ったときのことで。

ラジオから手塚治虫の訃報が流れたときでした。

母が「誰が亡くなったの?」と聞くんで・・・

「鉄腕アトムを作った人だよ」と答えました。

「ふ〜ん・・・、御茶ノ水博士がねえ〜」



ハハハッ!!

おじいちゃんが入院して危篤状態になっていた。

見舞いから帰ってきた親戚の方が、おばあちゃんに聞いた。

親戚の人「おじいちゃんの入歯は?」

ばあさん「捨てた」

親戚の人「ええーッ! おじいちゃん元気になって、ごはん食べたいと言っているよ!」

ばあさん「ええっ! もうダメだと思ったのに・・・」

おばあちゃんの話です。

お医者さんに行き、「お尻に入れなさい」と座薬を渡されました。

おばあちゃんは、お汁に入れて飲んでいました。

「君は、相当頑固な性格だね。」

「いえ、そんなことはありません。」

「いや、頑固だよ。」

「いいえ! 絶対に頑固なんかじゃありません!」



あはあはっ!!

高校の時の体育の先生がお見合いをした時の話。

女性 「ご趣味は?」

先生 「読書です」

女性 「ロミオと ジュリエットはお読みになりました?」

先生 「ええ、ロミオは読みましたが ジュリエットはまだです」